

INDEX

INTRODUCTION	1	■会長挨拶 高須賀昌志
RELEASE	2	■環境芸術学会第23回大会 開催にあたって 大会実行委員長 藤浩志
INFORMATION	3-6	□大会スケジュール 第23回大会内容
RECRUITMENT	7-10	□参加申し込み方法 ■環境芸術学会第23回大会 研究発表(口頭・パネル・作品)募集
INFORMATION	11	■新規会員のご紹介
CONFERENCE	12-13	■2021年7月-2022年6月 理事会報告
CLIP		□ホームページのご案内 □メーリングリストについて □環境芸術学会 入会のご案内

IEAD

Institute of Environmental Art and Design
環境芸術学会報

NO.33/2022 June

環境芸術学会第23回大会 案内号

開催地：秋田市文化創造館

(秋田県秋田市千秋明德町3-16)

開催日時：9月30日(金) - 10月2日(日)

※作品発表については、別途設定



環境芸術学会報 NO.33/2022 June
2022年6月〇日発行

環境芸術学会事務局
〒110-8714
東京都台東区上野公園12-8
東京藝術大学美術
学部第3研究室Time & Space内
E-mail: iead-info@iead.org
<https://www.iead.org/>

発行人/
高須賀昌志

編集人/
船山哲郎 石上城行 酒井正

事務局/
石上城行 酒井正 小佐原孝幸
船山哲郎 宮本一行 奥田祥吾
菫浦澤侑

発酵と熟成

環境芸術学会会長 高須賀昌志

COVID-19の脅威が収まり、会員が直接顔を合わせての大会が3年ぶりに開催できることを心より嬉しく思います。リモート会議は物理的距離から解放され、時間や移動コストを費やすことなくある面では対面の代替え以上の新しい価値が評価されています。しかしながら、やはりバーチャル空間では満たされないものがあるのも事実です。日常空間から離れ、外界と直接触れ合うことの意義は大きなものであり、訪れる機会が少ない場所で、その地域独自の歴史や文化に触れることができるとしたらそれは尚更と言えるでしょう。今秋開催する秋田大会は、これまで溜まった鬱憤を晴らす良い機会になるのではと期待しています。

秋田は北国の厳しい気候と風土の中で継承されてきた祭りや伝統文化の宝庫と言われています。「ナマハゲ」は、年に一度、悪事に訓戒を与え厄災を祓い、豊作・豊漁・吉事をもたらす来訪神として各家庭を練り歩く民俗行事です。1978年に「男鹿のナマハゲ」の名称で国重要無形民俗文化財に指定され、2018年にはユネスコ無形文化遺産「来訪神：仮面・仮装の神々」のひとつとしても登録されています。

クマやカモシカなどの獣(けもの)を狩る「マタギの文化」は、平安時代の秋田県が発祥とされています。彼らの生活は徹底した自然保護思想で貫かれていたと言います。獲物を山の神の恵みとして感謝し、必要以上に乱獲せず、祈りとタブーで己を律するマタギの習俗は、環境と人間の営みの関わりを考える上で示唆に富んでいることは容易に想像されます。

秋田大会では、『その土地の発酵と循環』がテーマに掲げられています。この魅力的なアイデアは、藤浩志大会実行委員長の発案によるものです。「発酵」は「熟成」とよく似ていますが、「発酵」とは菌やカビなどの微生物がたんぱく質や糖質を分解し、うま味の素となるアミノ酸やアルコールによって味が変化することであり、一方の「熟成」は、食材自体が持っている酵素によって、たんぱく質が分解されアミノ酸が増加し味が変化することだと言います。つまり“微生物”が介在するか否かがその違いといえます。秋田の風土や環境の特性によって「熟成」されてきたものと、微生物たる文化や芸術がはたらいで「発酵」してきたものを見極めることはとても興味深いことです。「発酵」や「熟成」の発見は偶然の産物だったと言われています。しかし長い歴史の中での改良は、先人達の叡智が詰まった必然であることは明らかでしょう。生態系における循環システムと同様に、豊かな自然と時間の堆積の中で如何に「秋田」が変化してきたかを、全身で体感する機会が持てるものと楽しみにしています。

会員皆様のたくさんのご参加をいただきますようお願い申し上げます。



左：《連続する線分》環境芸術学会2021年大会（作品発表） / 中央・右：《連続する線分》共同住宅エントランス(都内)2022年 高須賀昌志

環境芸術学会第23回大会

「その土地の発酵と循環」

会場：秋田市文化創造館

(秋田県秋田市千秋明德町3-16)

23回環境芸術学会大会はほとんどの方が訪れることのない日本古来の文化のサンクチュアリ・秋田で開催します。この機会を逃すと生涯この土地を体験することはないでしょう。コロナ禍収束前という状況を踏まえ、密を避け、距離をとりながら、広大な土地と無駄に広い会場で開催されます。

固有の土地、地域の環境を変容させる因子としての環境芸術を、秋田が誇る日本酒文化をはじめとする発酵文化に喩え、古代より引き継がれ、循環を促してきた新旧さまざまな土地固有の因子を探る大会を計画しています。

2021年7月、秋田県北部にある大湯環状列石や伊勢堂岱遺跡を含む「北海道・北東北縄文遺跡群」がユネスコ世界遺産に登録され、「男鹿のナマハゲ」を含む「来訪神：仮面・仮装の神々」がユネスコ無形文化遺産に登録されました。初日のエクスカーションでは戦後最大級の大型干拓事業として知られる八郎潟干拓事業で誕生した大潟村を經由し、これらの文化遺産を訪ねる予定です。

二日目の大会会場の位置する千秋公園は明治期に数々の庭をつくりだした長岡安平の設計によるもので、明治29年久保田城の本丸・二の丸跡地の地形を活かしてにつくられたものです。会場となる建築は数年間閉鎖されていた秋田県立美術館跡を改築して昨年開館した施設です。そのメインホールは採光のための天井の丸窓が特徴的で、藤田嗣治が昭和12年に秋田で描いた高さ3.65m幅20.5mの油彩画を展示するため昭和42年に作られた空間です。

秋田にはそれぞれの時代の風習、儀式、食文化、建築、土木、美術、芸能などさまざまなタイプの環境芸術が幾重にも重なり息づいています。シンポジウムでは、それらを受け継ぎつつも、新しい活動を試みるいくつかの実践の事例を紹介しながら討議したいと考えています。

様々な環境芸術の因子がもたらす状況の変化、価値観の変容、そしてその土地の循環について体感し深めてもらいたいと思います。関心を共有する皆様の参加をお待ちしております。

大会実行委員長 藤浩志

主 催 : 環境芸術学会
協 力 : 秋田公立美術大学 NPO法人アーツセンターあきた

< テーマ > 「その土地の発酵と循環」

< 大会組織 >

大会会長	高須賀昌志
実行委員長	藤浩志
実行副委員長	柚木恵介
実行委員	石上城行 酒井正 船山哲郎 今中隆介 石川昌 曾根博美 青木邦人

■大会日程 : 2022年9月30日(金)ー10月2日(日)

■発表場所 : 秋田市文化創造館 スタジオA-1 他

■大会事務局 : 〒010-1632

秋田県秋田市新屋大川町12-3 秋田公立美術大学 藤研究室内
環境芸術学会第23回大会実行委員会事務局
船山哲郎 e-mail: t.funayama@akibi.ac.jp

■第23回大会内容

□大会スケジュール

大会1日目 9月30日(金) エクスカーション

13:20	秋田駅東口 バスターミナル集合
13:30	秋田駅東口出発ー移動
14:30ー15:30	大潟村干拓博物館(秋田県南秋田郡大潟村字西5丁目2番地) 見学
15:30ー16:00	移動
16:00ー17:00	なまはげ館(男鹿市北浦真山字水喰沢) 見学
17:00ー	移動
19:30	北秋田または大館 到着 宿泊(調整中)

※訪問先の都合等によりプログラムを変更する場合があります

大会2日目 10月1日(土) 総会・学会賞受賞者講演・シンポジウム

13:00ー13:50	総会
14:00ー14:20	大会開会式 学会賞表彰式
14:30ー15:30	学会賞受賞者記念講演会
15:45ー18:00	シンポジウム
19:00ー	懇親会 @文化創造館2階 スタジオA1

大会3日目 10月2日(日) 口頭発表・パネル発表

9:00ー12:00	口頭発表
12:00ー13:00	昼食休憩
13:00ー14:00	パネル発表(ポスターセッション形式)
14:00ー14:30	優秀プレゼンテーション賞(学生のみ)表彰 閉会式

※発表件数により時間変更することがあります。最新の予定は学会ホームページをご確認ください

■第23回大会内容

□ 学会賞表彰式 / 受賞者記念講演会

日時:10月1日(土)14:30ー

本年度は環境芸術「学会賞」「奨励賞」が発表されます。それぞれの表彰と受賞者による講演会を行います。

□ 大会シンポジウム

日時:10月1日(土)15:45ー

テーマ:発酵を促進するデザイン

土地の発酵とは何を意味するのでしょうか。

本シンポジウムでは、秋田という土地の変容を促す試みを続ける建築家とデザイナーを招き、その土地が有する文化と、現代のデザインが反応することによって起こり得る「発酵」とその可能性について語り合います。

※はっ-こう[-カウ]【発酵/醗酵】
[名](スル)

微生物の働きで有機物が分解され、特定の物質を生成する現象。
狭義には無酸素状態で糖質が分解されること。
生物体はこれにより必要なエネルギーを獲得する。
生成される物質によってアルコール発酵・乳酸発酵・メタン発酵などとよぶ。
酒・醤油・味噌・ビール・チーズなどの製造に利用。

-大辞林(小学館)より

モデレーター: 藤 浩志

美術家/秋田公立美術大学 教授

スピーカー:

小杉 栄次郎

秋田公立美術大学教授
建築家/コードアーキテクト代表
NPO法人team Timberize副理事長

1968 東京都生まれ
1992 東京大学工学部建築学科卒業
-2001 磯崎新アトリエに勤務
2002 KUS一級建築士事務所を設立 (- 15)
2011 NPO法人team Tiberize 設立 副理事長
2013 秋田公立美術大学 准教授 (- 17)
2017- 一級建築士事務所 コードアーキテクトを設立
2018- 秋田公立美術大学 教授

相馬 佳暁

設計士/木桶技師/酒匠
PANOF INC.代表
新政酒造株式会社 執行役員

1976 神奈川県生まれ
1999 多摩美術大学美術学部建築学科卒業
2001 同学大学院美術研究科デザイン領域修士課程修了
2001 現)デザイン会社 有限会社 PANOF創立
-2008 海外で設計業務に携わり帰国後、PANOFスタジオ設立
2017 新政酒造株式会社へ出向、酒類業界に従事
2021- 新政酒造株式会社 執行役員就任

■第23回大会内容

□ 研究発表 口頭発表/パネル発表

○口頭発表 10月2日(日) 10:00ー

文化創造館2階 スタジオA1 他

1. 発表者(共同研究の場合は発表筆頭者)は、口頭発表会場において発表を行い、質疑応答、討論をおこなう。
2. 発表時間は、1件について20分間(概ね、発表時間15分、質疑応答時間5分)とする。
発表時間の変更がある場合は発表者数確定後、本人に連絡する。
3. 発表に必要なプロジェクターは大会事務局で用意する。PCについては発表者が準備すること。
プロジェクターとの接続ケーブルのコネクタ等については、後日事務局より発表者に連絡する。
4. 「優秀プレゼンテーション賞(会員部門・学生部門 各1件)」を設け、優れた発表に対して授与する。

※ 本大会の口頭発表の発表者は対面参加のみといたしますが、聴講のみのオンライン参加は受け付けます。

○パネル発表 10月2日(日) 13:00ー

文化創造館2階 スタジオA1/3階 スタジオA3

1. 発表者が作成したパネルを定められた場所に掲示する(掲示は大会事務局で行う)
2. 発表者(共同研究の場合は発表筆頭者)は、各自のパネルの前に待機し、内容説明や質疑応答を適宜行う
3. パネルの内容

画面大きさ: A1サイズ 縦位置 枚数: 発表件数1件につき2枚以内 テキストサイズは10pt以上とすること
表題: 1枚目に当たるパネル上部に表題、発表者氏名、所属を表すものとする。副題をつけても良い。形式は自由。

※ **パネルデータはPDFで提出。大会事務局にて出力を行います(用紙は厚手普通紙)**

詳細は後日、発表代表者に対してメールにてお知らせします。データ提出は大会3週間前を予定。

■第23回大会内容

□大会企画作品展示 12月6日ー12月16日 オリエアートギャラリー

東京北青山にあるオリエアートギャラリーにて作品発表展を開催します。

一 環境芸術学会第23回大会研究発表作品展示(仮称)一

日程：2022年12月6日(火)～12月16日(金) ※12月11日(日)は休館

時間：11:00～18:00(最終日15:00まで)

搬入：12月5日(月)10:00～13:00 その後展示作業を行う

搬出：最終日展示終了後

出展条件

作品サイズ

立体作品 縦・横それぞれ1辺50cm以内に収まる作品とする。
高さは自由だがギャラリー天井高2,300mmを考慮すること。(台座は含まず)

平面作品 縦100cm・横100cmのスペースに収まる作品とする。
立体・平面作品のいずれも、重量は30kg程度以内とする。

作品素材 自由

展示方法 立体作品の台座については、大きさによっては大会事務局で用意することも可能です。その際は出展申込書にその旨を必ず記入し、数と大きさは大会事務局と相談すること。平面作品については、壁面にピクチャーハンガーもしくはイーゼルにより展示します。数と大きさは大会事務局と相談すること。天井高は2,300mm

展示作業は大会事務局と出展者でおこなう。ただし搬入・撤去は出品者本人がおこなうものとする。なお、台座の利用の際やレイアウトや設営、展示の管理の特殊なもの、また電源や機材が必要なものは大会事務局との事前調整が必要。

○作品発表の搬出入については、下記の事項を基本とします。

作品展示についての詳細は、後日事務局よりメールにてご案内します

- ・直接搬入 2022年12月5日(月) 10:00～13:00 ※実行委員会と出展者が同日13:00～展示作業
- ・業者委託搬入 2022年12月5日(月) 午前中着 ※各自、大会事務局と調整して展示を行う

作品送付先 〒107-0061 東京都港区北青山2-9-16-AAビル1F オリエアートギャラリー
TEL 03-5772-5801 ※梱包表面、または伝票に「環境芸術学会作品発表」と記載のこと。

- ・搬出 2022年12月16日(金)展示終了後15:00～17:00 基本的には出展者が搬出作業を行う

□参加申し込み方法・参加費

●エクスカージョン参加(9月30日)

<参加費> 一律 13000円 (調整中)

※エクスカージョンのバス代、宿泊費等
参加者の人数等により変動する可能性有り

※10月1日以降の宿泊は、各自手配

●大会参加(10月1日以降)

<参加費> 正会員:5000円
学生会員:3000円
会員以外:6000円

※宿泊は各自手配

<別途費用>

懇親会費(10月1日):5000円

大会2日目の夜に秋田市文化創造館にて懇親会を行います

弁当代(10月2日):1000円

周辺にコンビニや飲食店もいくつかありますが、
昼食時間が限られているためお弁当の予約をお勧めいたします

大会参加申込URL (Peatix)

<https://iead23equipment.peatix.com/>

※参加費のお支払い方法はPeatix内でご案内いたします

※研究発表の申し込みはp.10のフォームから別途行ってください



右のQRコードからもアクセスできます

申込締め切り 7月22日(金)

●総会参加(学会員のみ)

※大会への出席・欠席に関わらず、期日までにご回答ください

2020年度よりハガキの郵送による確認から専用フォームに回答する方法に変更しました。
総会の出席・欠席の確認と欠席の場合の委任状も兼ねておりますのでご協力ください。

総会参加申込URL (Google forms)

<https://forms.gle/1BpVwkeB6cQj4jMG8>



右のQRコードからもアクセスできます

申込締め切り 8月31日(水)

□参加申し込み方法・参加費

●オンライン聴講参加(Zoom利用 10月2日のみ)

<参加費> 1000円

本大会では、10月2日に行われる口頭での研究発表に限り、オンライン聴講を受け付けます。聴講を希望される方は下記のURLよりお申し込みの上、参加費をお支払いください。

オンライン聴講申込URL (Peatix)

※参加費のお支払い方法はPeatix内でご案内いたします

<https://iead23online.peatix.com/>



右のQRコードからもアクセスできます

申込締め切り 9月25日(日)

■環境芸術学会第22回大会 研究発表募集

- 研究発表は(A)口頭発表(B)パネル発表(C)作品発表、3つの方式があります。
- 1研究者が複数の研究発表をすることが可能です。
- 「概要集原稿」「大会プログラム原稿」が必要です。下記要項に従って提出して下さい。
- 今年度分も含め年会費の未納があると研究発表申請ができません。共同発表者についても同じです。
納入状況についての不明点は本部事務局の岩岸までご連絡ください。
- 「研究発表登録費」が下記の通り必要となります。詳しい内容について研究発表登録費詳細をご覧ください。
- 発表に際しては学会HPの「環境芸術学会の著作権について」を参照し、著作権などの取り扱いに十分に留意すること。

※研究発表全般に関するお問い合わせ

大会事務局 船山哲郎 E-mail: t.funayama@akibi.ac.jp

※「概要集原稿」「大会プログラム原稿」に関する問い合わせ

本部事務局 小山亜紀 E-mail: iead-info@iead.org

大会研究発表について

○大会研究発表資格

(別表1) 研究発表資格の有無と研究発表登録費

1) 研究発表の代表者は会員のみとする。

2) 発表年度も含め学会年会費の未納がない者とする。

共同研究者についても同じとする

	会員	学生会員	非会員
研究代表者	○(3,000円)	○(0円)	×(代表者にはなれない)
共同研究者	○(3,000円)	○(0円)	○(学生3,000円) ○(一般5,000円)

○研究発表登録費

1) 大会参加費とは別に口頭発表・作品発表・パネル発表の研究発表者は指定された研究発表登録費を学会事務局に支払う。

2) 研究発表を複数行う場合はそれぞれの発表について研究発表登録費を学会事務局に支払う。

3) 共同研究者が複数いる場合はその人数分の研究発表登録費を研究代表者が学会事務局に支払う。

4) 研究発表登録費の金額は会員、学生会員、非会員により異なる。(別表1)

5) 研究発表申し込み時に定められた金額を研究代表者が学会口座に一括して振り込む。

6) 研究発表を辞退した場合でも、振り込まれた研究発表費の払い戻しはされない。

・部会発表はパネル発表に準じて行う。研究発表登録費を支払う必要はない。

・徴収した研究発表参加費は研究概要を掲載する当該学会誌制作代の補助とする。

□ 研究発表申し込み方法

(A)口頭発表/(B)パネル発表/(C)作品発表

① 研究発表の申し込み(Google Forms)

(A) (B) (C)共通

研究発表希望者は、以下のGoogle Formsから必要事項を入力し申し込みを行ってください。
プログラム用原稿(100文字~150文字)も同時にこちらに入力してください。

研究発表申込フォームURL <https://forms.gle/gzGB78GWfaP3d6YC8>

右のQRコードからもアクセスできます



申込締め切り 7月22日(金)

※期日を過ぎての受付はいたしませんのでご注意ください

② 概要集原稿(PDFデータでの提出)

(A)のみ

「概要集原稿」は、「指定レイアウト」を学会ホームページよりダウンロードし、指示に従って作成した後、データを以下のGoogle Formsへアップロードすること。

なお「概要集原稿」はPDFデータ(最大3MB)とし、指定した形式以外での提出は受け付けません。

- 1) 原稿提出先 <https://forms.gle/BQb7TumF6jw3XipP8>
- 2) 締め切り **8月1日(月)~8月3日(水)** ※期日を過ぎての受付はいたしませんのでご注意ください

③ 研究発表登録費の支払い

(A) (B) (C)共通

研究発表登録費は概要集原稿の提出と同じタイミングで学会口座にお振込ください。

お振込日 8月1日(月)~8月3日(水)

○振込先

■みずほ銀行根津支店

口座番号:普通 1708384

口座名義:環境芸術学会

(フリガナ:カンキョウゲイジュツガッカイ)

■ぱるる(郵便貯金口座)

口座番号:00160-0-587151

名義:カンキョウゲイジュツガッカイ

※他の金融機関からの振込の場合

金融機関コード:9900 店番:019 預金種目:当座

店名:〇一九店(ゼロイチキューウ店)

口座番号0587151

《お振り込みについての注意点》

お振込みされた方の氏名が正確に確認できるよう、必ず振込者名の先頭に会員番号をお付け下さい。

会員番号は学会より発送される各封書の宛名に表記しています。

新規会員のご紹介／NEW MEMBERS 2021年7月～2022年6月 (各会員の情報は入会時点のものです)

○正会員

山近 資成	都市計画・共生学 新宿区 都市計画部建築指導課 主事
笠見 康大	絵画制作 美術教育 ワークショップ 北海道文教大学 人間科学部こども発達学科 講師
木曾 毅	図工・美術教育 うらわ美術館 さいたま市教育委員会生涯学習部 指導主事
石橋 幹己	伝統音楽、サウンドスケープ (独) 日本芸術文化振興会 国立劇場制作部伝統芸能課 主任
竹丸 草子	アートマネジメント、アートプロジェクト、ワークショップデザイン、美術教育 長岡造形大学大学院 造形研究科 博士後期課程2年
新井 聡真	サウンドアート/アートプロジェクト 東京電機大学大学院 先端科学技術研究科 情報学専攻 博士後期課程1年
轟 颯馬	彫刻 川崎市立川崎総合科学高等学校 全日制 デザイン科 実習教諭(臨時適任用)
高田 芽衣	マンガ・エンターテインメントデザイン・地域連携 宝塚大学 東京メディア芸術学部 助教
飯嶋 桃代	インスタレーション 女子美術大学 美術学科立体アート専攻 非常勤講師
石川 昌	ビジュアルアイデンティティ サイン計画 秋田公立美術大学 美術学部 コミュニケーションデザイン専攻 准教授
今中 隆介	インテリアデザイン、ファニチャーデザイン、プロダクトデザイン 秋田公立美術大学 美術学部美術学科ものづくりデザイン専攻 大学院複合芸術研究科 教授
柚木 恵介	プロダクトデザイン、素材開発 秋田公立美術大学 美術学部ものづくりデザイン専攻 准教授
梅田 カ	彫刻/現代美術、研究手法 星槎道都大学 美術学部デザイン学科 准教授
長井 優衣	デザイン学、メディア造形表現 昭和女子大学 環境デザイン学部 環境デザイン学科 助教
宇治原 妃美子	芸術教育、グラフィックデザイン、絵画 国立大学法人東海国立大学機構 名古屋大学 名古屋大学博物館

○学生会員

井東 ひかり	空間デザイン 東京芸術大学 美術研究科 デザイン専攻 第3研究室 修士1年
伊藤 雄生	芸術工学、インタラクティブアート 新潟大学大学院 自然科学研究科 博士前期課程
齊藤 亜間	工学系科学 新潟大学 自然科学研究科 修士1年
斎藤 陽	芸術工学 新潟大学 大学院自然科学研究科電気情報工学専攻人間支援科学コース橋本研究室 大学院1年生
佐藤 沙織	UX/UI デザイン 実践女子大学 実践女子大学 学生

理事会報告 2021年7月～2022年6月

□環境芸術学会2021年度第3回理事会議事録

日時:2021年9月2日(木)10:00～12:00

実施方法:オンライン会議(Zoom)

参加者:高須賀 昌志、大森 正夫、鈴木 太郎、小佐原 孝幸、伊藤 隆治、酒井 正、下山 肇、田島 悠史、高橋 綾、竹田 直樹、國安孝昌、山田 良、藤 浩志、橋本 学、谷口 文保、浜地 孝史、三上 己紀、石上 城行、船山 哲郎、宮本 一行、奥田 祥吾、相澤 孝司、田中 ゆり、菖蒲澤 侑

【報告事項】

・事務局

入会希望6名、退会希望1名の報告があり、5名の入会が承認され、その他は保留となった。

・編集委員会

2021年 春号の発行が報告された。

・学会誌委員会

本年8月末日切分の進行状況が報告された。

【協議事項】

・第22回 湘南大会について

大会実行委員長より「テーマ」「会場」「大会企画」「実施体制」等について提案があり検討の結果、概ね承認された。

・学会報32号について

作成作業の進行状況について報告された。

・学会賞について

学会誌委員会より、学会賞:平戸貢児氏、奨励賞:東方悠平氏の推薦があり承認された。

・学会誌2021秋号について(相澤)

編集委員会より環境芸術2021年秋号の内容(作品紹介5名等)と発行形態(デジタルブックの先行発信)について提案があり、承認された。

・その他

HPにおける会員情報の更新、本学会における作品発表の位置づけの普及、次年度大会を秋田とする方向性等が確認・共有された。

□環境芸術学会2021年度第4回理事会議事録

日時:2021年11月7日(日)16:00～17:55

実施方法:オンライン会議(Zoom)

参加者:高須賀 昌志、大森 正夫、鈴木 太郎、小佐原 孝幸、伊藤 隆治、阿部 芳久、酒井 正、下山 肇、高橋 綾、平戸 貢児、池村 明生、山田 良、藤 浩志、橋本 学、谷口 文保、浜地 孝史、三上 己紀、石上 城行、船山 哲郎、奥田 祥吾、菖蒲澤 侑、相澤 孝司、田中 ゆり、前田尚武

【報告事項】

・事務局

資料に基づき1名入会が承認された。前回理事会で保留とした件について退会となったことが報告された。

・学会誌委員会

本年8月日切分の進行状況(査読結果)について報告された。

・広報委員会

学会HPやSNSを通じて次の大会の告知が行われたことが報告された。

・その他

国立国会図書館インターネット資料収集保存事業に掲載することを確認された。

【協議事項】

・第22回 湘南大会について

大会実行委員長より「日程」「内容」「実施体制」「大会企画」「作品展示」について提案があり、協議の後おおむね承認された。

・学会賞について

前回理事会の承認通り平戸氏、東方氏へ賞を贈ることが確認された。

・学会誌2021秋号について

原稿の提出状況等の報告があり、デジタルブックと紙媒体の発行スケジュールが確認された。

・「パブリックアート研究アンケート」について

資料を基に大学院生の修士研究に関わるアンケートへの協力依頼があり、

承認された。

・その他

事務局員の後任と次回秋田大会にかかわる日程および実施方法について意見交換した。

□環境芸術学会2021年度第5回理事会議事録

日時:2021年12月5日(日)10:00～11:50

実施方法:オンライン会議(Zoom)

参加者:高須賀 昌志、鈴木 太郎、伊藤 隆治、阿部 芳久、酒井 正、下山 肇、田島 悠史、高橋 綾、竹田 直樹、池村 明生、山田 良、藤 浩志、橋本 学、谷口 文保、三上 己紀、三上 奈美、石上 城行、船山 哲郎、宮本 一行、奥田 祥吾、菖蒲澤 侑、田中 ゆり

【報告事項】

・事務局

2名の入会希望について報告があり、承認された。

【協議事項】

・第22回 湘南大会について

大会実行委員長より資料に基づいて「当日スケジュール」「役割分担」「作品展示」等について説明があり承認された。

・第23回 秋田大会の計画について

総会資料に基づいて「日程」「会場」「内容」について検討し承認された。

・その他

デジタルブックの納品日、パネル発表、オリエ展の撮影、メーリングリスト不具合について、確認・共有した。

□環境芸術学会2021年度第6回理事会議事録

日時:2022年2月10日(木)10:00～12:15

実施方法:オンライン会議(Zoom)

参加者:高須賀 昌志、大森 正夫、鈴木 太郎、小佐原 孝幸、伊藤 隆治、酒井 正、下山 肇、田島 悠史、竹田 直樹、平戸 貢児、池村 明生、藤 浩志、浜地 孝史、三上 己紀、石上 城行、宮本 一行、奥田 祥吾、田中ゆり、菖蒲澤 侑

【報告事項】

・事務局

入会希望者2名、退会希望者6名+賛助会員1件について報告があり承認された。

・編集委員会

学会誌27号(2021年秋号)が2月末発刊とのこと報告された。

・学会誌委員会

2021年8月締切り分の進行状況(投稿7件の内5件が掲載)について報告があり承認された。

・優秀プレゼンテーション賞について

大会実行委員と学会役員による協議の結果、下山肇氏へ賞を贈ることが提案され承認された。併せて賞の趣旨や運営体制について検討された。

・2021年度湘南大会の会計報告について

資料に基づいて2021年度湘南大会の会計について報告があり、承認された。併せて実験展Webページサーバー費について検討し、継続することが承認された。

【協議事項】

・2022年度春季研究発表大会について

資料に基づいて「日程」「内容」「実施体制」等について検討し承認された。

・2022年度のオリエアートギャラリーでの展覧会について

研究部発表展・若手展・オリエギャラリーと南相馬との関係をもととする展示といった案が提案され検討した結果、引き続き事業委員会が協議することが確認された。

・第23回 秋田大会について

大会実行委員長より日程:2022年9月30日(金)～10月2日(日)、会場「秋田市文化創造館」、エクスカッション等について提案があり、承認された。

・山形県天童温泉について

天童温泉における事業提案の依頼について説明があり、学会としてのかかわり次項へ>>>

理事会報告 2021年7月～2022年6月

り方を検討した結果、イベントや展覧会を実施することでイメージの共有を図る等の意見が出され、その旨先方に提案することが確認された。

□環境芸術学会2022年度第1回理事会議事録

日時:2022年4月10日(日)10:00～11:45

実施方法:オンライン会議(Zoom)

参加者:高須賀 昌志、大森 正夫、鈴木 太郎、相澤 孝司、小佐原 孝幸、伊藤 隆治、酒井 正、下山 肇、田島 悠史、竹田 直樹、平戸 貢児、山田 良、藤 浩志、橋本 学、浜地 孝史、石上 城行、宮本 一行、奥田 祥吾、葛蒲澤 侑、三上 己紀

【報告事項】

・事務局

入会9件、退会6件について報告があり、承認された。

・編集委員会

学会誌27号の発送が完了したことが報告された。

・学会誌委員会

本年2月締切り分について5件の投稿があり、現在、査読中であることが報告された。

・広報委員会

2022年度より小佐原氏が広報委員長となることについて報告があり、承認された。

【協議事項】

・2022年度春季大会(オンライン口頭発表)について

春季大会の「発表者」「実施体制」等について報告があり、承認された。また、概要集をデジタルブックとして発行することが確認された。

・環境芸術28号の編集校正について

28号の内容構成について資料をもと説明があり、承認された。

・2022年度前期オリエアートギャラリーでの展示について

会期6/14(火)～24(金)で「MMM研究部会」の展覧会を行うことが説明され、承認された。

・第23回 秋田大会について

実行委員会の組織と大会内容の進捗について説明があり、学会報での告知に向けて6月理事会で記載内容を決定することが確認された。

・論文投稿の電子化について

論文投稿かわかってオンラインを通じて論文区分を登録するフォームを設定することと関連規定を追加することが提案され、承認された。併せて「デジタル投稿」について検討し、具体的な方法や規定などを整えることが確認された。

・「実験・発見展示部会」の設立について(伊藤)

2021年湘南大会での実験展を契機とする研究部会の設立について提案があり、検討の後、承認された。併せて、学会HPの研究部会に関する表記について更新を進めることが確認された。

・その他

春と秋の大会のプレゼンテーション賞について、学会賞と同様に掲載することが提案され承認された。

・広報委員会'

オリエアートギャラリーでの展覧会についてHP並びにSNS等で発信したことが報告された。

・春季大会のアンケート結果について

大会終了直後に行ったアンケート調査結果について報告された。

・「みなとメディアミュージアム展」について

展覧会が開催したと展示内容について報告された。

【協議事項】

・第23回 秋田大会(9月30日～10月2日)について

日程や内容、各種申し込み方法について説明があり、協議の結果、承認された。

・学会誌29号の編集方針について

29号は、大会にあわせて「デジタルブック」を作成し、冊子については9月末発行というスケジュールが提案され、了承された。また「Works」の推薦については、広報委員会を中心に展開することが確認された。

・論文投稿の電子化について

資料に基づいて説明があり、「申し込みフォーム」や「投稿既定の修正案」が承認された。

・その他

本年度の学会賞の進め方について会長より提案があり承認された。

来年度(2023年度)の大会候補地について会長より提案「東京工科大学」があり、承認された。

□環境芸術学会2022年度第2回理事会議事録

日時:2022年6月19日(日)10:00～12:00

実施方法:オンライン会議(Zoom)

参加者:高須賀 昌志、大森 正夫、鈴木 太郎、相澤 孝司、小佐原 孝幸、伊藤 隆治、酒井 正、下山 肇、高橋 綾、竹田 直樹、平戸 貢児、前田尚武、藤 浩志、谷口 文保、八木 健太郎、浜地 孝史、石上 城行、船山 哲郎、奥田 祥吾

【報告事項】

・事務局

入会希望1名と退会希望1名について報告があり、承認された。

・編集委員会

学会誌28号の発行予定(7月)について報告された。

・学会誌委員会

本年2月締め切り分5件について現在再査読中であることが報告された。

□会報への投稿について

会員の皆様からの投稿をお待ちしています。環境芸術に対するお考えやご意見、会員に関するイベントや展覧会の情報など事務局までお寄せ下さい。投稿原稿(写真も可)は電子メール等によるテキストデータをお願いいたします。
*投稿原稿の送付先および、お問い合わせは事務局メールアドレスまで。

□ホームページのご案内

<http://www.iead.org/>

IEADホームページでは会員参加の個展、イベントなど予告情報、活動報告などを掲載させていただきます。DM、ポスターなども掲載が可能ですので、ご投稿下さい。会員の情報投稿など、詳しいインターネット活用の規則は事務局のページに掲載してあります。

□メーリングリストについて

環境芸術学会では、メーリングリストを開設しております。会員間での情報交換の場として活用して下さい。まだメーリングリストが届いていない方は事務局アドレス iead-info@iead.orgまでご連絡下さい。

○環境芸術学会メーリングリストアドレス

iead@iead.org

※上記のアドレスにメールを送信するとメーリングリスト登録済みの全会員に転送されます。メーリングリストにより送信されたメールに対し直接返信メールを送ると、再びメーリングリスト全会員に転送されますのでご注意ください。

※メーリングリストへの登録は入会申し込み書に記載されたアドレスに基づいて事務局がおこなっております。

○環境芸術学会事務局 E-mail アドレス

iead-info@iead.org

※事務局へのお問い合わせ、要望などは上記のE-mailアドレスに送信して下さい。

□環境芸術学会 入会のご案内

○入会申込方法

ホームページ入会案内にある所定の入会申込書をダウンロードしてご記入の上、事務局までメールにてお送り下さい。

○環境芸術学会事務局

E-mail: iead-info@iead.org

〒110-8714 東京都台東区上野公園12-8

東京藝術大学美術学部デザイン科 第3研究室

Time & Space内

○入会金および会費

・正会員(年額)12,000円

・正会員入会金(申込時)5,000円

・学生会員(年額)5,000円

(博士後期課程在籍者は正会員となります)

・賛助会員(年額)一口 50,000円

※入会承認は2ヶ月に1度開かれる理事会にて行われます

その後、事務局よりご連絡差し上げます。

○振込先 (研究発表登録費もこちらにお振り込みください)

■みずほ銀行根津支店

口座番号:普通 1708384

口座名義:環境芸術学会

(フリガナ:カンキョウゲイジユツガッカイ)

■ぱるる(郵便貯金口座)

口座番号:00160-0-587151

名義:カンキョウゲイジユツガッカイ

※他の金融機関からの振込の場合

金融機関コード:9900 店番:019 預金種目:当座

店名:〇一九店(ゼロイチキュー店)

口座番号0587151

《お振り込みについての注意点》

お振り込みされた方の氏名が正確に確認できるよう、必ず振込者名の先頭に会員番号をお付け下さい。(会員番号は封書の宛名に表記しています。)

●年会費納入のご案内

年会費に関すること(未納状況の確認など)は会計担当までご連絡ください。

事務局員会計担当 岩岸 E-mail: from-jimu@iead.org